

■本日の講義のねらい

- ・ エクセルをつかって、計算や関数の基礎を覚える
- ・ エクセルを用いたデータベース検索の仕方を身につける

1. エクセルの基本的な操作を覚える

①Excel を立ち上げる

②四則演算の仕方

・セルに “= 2 + 3” と入力 → Enter キーを押す

・セル A2 に “2” A3 に “3” を入力 →セル B2 に “=A2+A3” と入力 →Enter キーを押す

※ “A2” と直接入力する代わりに、A2 をクリックする

・セル A2 に “2” A3 に “3” を入力 → A4 セルを選択し、メニューの “Σ” をクリック →Enter キーを押す

★足すは “+”、引くは “-”、割るは “/”、掛けるは “*” です！

③奈良県の市町村の人口と 65 歳以上人口の表から高齢化率を求める

◆ “練習用①” と書いてあるシートをクリックして選択（画面下部）

・人口の合計を求める

B41 セルを選択し、メニューの “Σ” をクリック →Enter キーを押す

※同様に C41 に、65 歳以上人口の合計を求めてみる

・高齢化率を求める

D2 に “=B2/C2” と入力 → Enter キーを押す

→D2 のセルの右下の部分をクリックし、D41 までドラッグ（クリックを押したままマウスを下に動かす） → 各市の高齢化率が求まる

※パーセント表示になっていない場合は、D 列を選択 → 右クリックで“セルの書式設定” → “表示形式” の「パーセント」を選択し “OK” をクリック

④最大値、最小値を求める

E2 をクリック→Σメニューの右の▼を選択→ “最大値” を選択→D2 から D41 までを選択 →Enter キーを押す

※同様に F 2 に最小値を求めてみる

⑤高齢化率の順位を求める

・画面上部の【fx】（関数の挿入）ボタンをクリック → 『関数の分類』で『すべて表示』を選択し、『関数名』で『RANK』を選択 → 【OK】 ボタンをクリック

- ・【関数の引数】ダイアログが表示 → 『数値』のところにカーソルが表示されているので、D2セルをクリックすると、『D2』と入力される（G2セルと数式バーには『=RANK(D2)』と表示）
→ 『範囲』の欄をクリックして、カーソルを表示します。
シートのD2からD40をドラッグして選択（『範囲』には『H5:H14』と表示）
→ **【F4】**キーを押して、『**『\$C\$2:\$C\$40』**の絶対参照にする→ **【OK】**ボタンをクリック
- ・G2のセルの右下の部分をクリックし、G40までドラッグ

⑥ 平均値を求める

D41のセルを選択する → Σ メニューの右の▼を選択 → “平均”を選ぶ → セル内が“=AVERAGE(G2:C 40)”となっていることを確認 → Enterキーを押す

2. データの並べ替え、オートフィルターを覚える

◆ “練習用②”と書いてあるシートをクリックして選択（画面下部）

① 並べ替えを行う

・A列からD列を選択（上部のAの部分をクリックし、Dまでドラッグ）→ 「データ」メニューから“並べ替え”を選ぶ → 最優先されるキーで“人口”を選択 → OKをクリック

② 条件にあったデータを一覧表示する（奈良県の人口1万人以下の市町村の平均高齢化率を求める）

・A列からD列を選択→ 「データ」メニューから“フィルタ”を選び、「オートフィルター」を選択する → 表の一番上の行に▼マークがつく

・「人口」の▼マークをクリック → 「(オプション)」を選択する → オートフィルターオプションのダイアログボックスが表示される → 「人口」の欄に“10000”と入力、条件の所は“以下”を選択する → OKをクリック

・表示された表を選択 → 編集メニューから“コピー”を選択 → “練習用②※”と書いてあるシートを選択 → 編集メニューから“貼り付け”選択

・D20を選択 → Σ メニューの右の▼を選択 → “平均”を選ぶ → Enterキーを押す

3. 配布した資料をもとに、以下のデータを求めてみる

① 全国の市町村別の高齢化率について

最大値（ ） 最小値（ ） 平均（ ）

② 奈良市の高齢化率の順位は全国（ ）位

③ 人口30万人以上の市町村の平均高齢化率（ ）

④ 人口1万人以下の市町村の平均高齢化率（ ）

※③と④については、それぞれ“人口30万人以上”と“人口1万人以下”のシートに、新しい表をコピー&貼り付けし、計算すること

※市町村の様々な統計データは総務省統計局のHP (<http://www.stat.go.jp/data/index.htm>) からダウンロードできます。